

# 様式2・ロ 再生資源利用促進計画書 ー建設副産物搬出工事用ー

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

**裏面**

## 2. 建設副産物搬出計画

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は、シート2枚目以降を利用してください

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)			
		現場内利用		減量化		搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先住所		搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)				
		用途 コード*10	②利用量 小数点第三位まで	③現場内改良分 小数点第三位まで	減量法 コード*11	③減量化量 小数点第三位まで	住所コード *4			運搬距離 千 百 十	km		トン	うち現場内改良分 小数点第三位まで			トン		
資材廃棄物	コンクリート塊	0.000	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	0.000	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
	アスファルト・コンクリート塊	0.000	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
建設廃棄物	その他がれき類	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	0.000	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
	建設汚泥	0.000	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
	金属くず	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
	廃塩化ビニル管・継手	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
	廃石膏ボード	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
	紙くず	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
	アスベスト (飛散性)	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
	その他の分別された廃棄物	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
建設発生土	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	0.000	トン				搬出先1					km	トン	トン	0	トン	0	%	
	第一種 建設発生土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1					km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0	地山m <sup>3</sup>	0	%	
	第二種 建設発生土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1					km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0	地山m <sup>3</sup>	0	%	
	第三種 建設発生土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1					km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0	地山m <sup>3</sup>	0	%	
	第四種 建設発生土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1					km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0	地山m <sup>3</sup>	0	%	
	浚渫土以外の泥土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1					km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0	地山m <sup>3</sup>	0	%	
	浚渫土 (建設汚泥を除く)	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1					km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0	地山m <sup>3</sup>	0	%	
	合計	0.000	地山m <sup>3</sup>	0.000	0.000	地山m <sup>3</sup>							0.000	地山m <sup>3</sup>	0.000	地山m <sup>3</sup>	0	地山m <sup>3</sup>	0

<b>コード*10</b> 1.路盤材 2.裏込材 3.埋戻し材 4.その他	<b>コード*11</b> 1.焼却 2.脱水 3.天日乾燥 4.その他	<b>コード*12</b> 施工条件について 1.A指定処分 (発注時に指定されたもの) 2.B指定処分(もしくは準指定処分) (発注時には指定されていないが、 発注後に設計変更し指定処分とされたもの) 3.自由処分	<b>コード*13</b> (建設廃棄物の場合) 1.売却 2.他の工事現場 3.広域認定制度による処理 4.中間処理施設(アスファルト合材プラント) 5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設) 6.中間処理施設(サーマルリサイクル) 7.中間処理施設(単純焼却)	(建設発生土の場合) 1.売却 2.他の工事現場(内陸) 3.他の工事現場(海面) 4.土質改良プラント 5.工事予定地・仮置場・ストックヤード (再利用の目的がある場合)	6.工事予定地・仮置場・ストックヤード (再利用の目的がない場合) 7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業 8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入) 9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入) 10.土捨場・残土処分場
--	--	---	--	--	--

注記) ・一般廃棄物は記入しないで下さい。  
 ・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6,9,10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

# 様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

**裏面**

## 2. 建設副産物搬出実施

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は、シート2枚目以降を利用してください

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)		
		現場内利用		減量化		搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先住所		住所コード*4	運搬距離 千 百 十 km	搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量	
場外搬出時の性状	用途コード*10	②利用量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	減量法コード*11	③減量化量 小数点第三位まで	搬出先1 搬出先2				搬出先住所	搬出先住所				千	百		十
資材廃棄物	コンクリート塊	0.000	トン	トン	トン	搬出先1							km	トン	トン	0	0%	
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	0.000	トン	トン	トン	搬出先1							km	トン	トン	0	0%	
	アスファルト・コンクリート塊	0.000	トン	トン	トン	搬出先1							km	トン	トン	0	0%	
建設廃棄物	その他がれき類	0.000	トン			搬出先1							km	トン	トン	0	0%	
	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	0.000	トン	トン	トン	搬出先1							km	トン	トン	0	0%	
	建設汚泥	0.000	トン	トン	トン	搬出先1							km	トン	トン	0	0%	
	金属くず	0.000	トン			搬出先1							km	トン	トン	0	0%	
	廃塩化ビニル管・継手	0.000	トン			搬出先1							km	トン	トン	0	0%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	0.000	トン			搬出先1							km	トン	トン	0	0%	
	廃石膏ボード	0.000	トン			搬出先1							km	トン	トン	0	0%	
	紙くず	0.000	トン			搬出先1							km	トン	トン	0	0%	
	アスベスト (飛散性)	0.000	トン			搬出先1							km	トン	トン	0	0%	
	その他の分別された廃棄物	0.000	トン			搬出先1							km	トン	トン	0	0%	
建設発生土	第一種 建設発生土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1							km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0	0%	
	第二種 建設発生土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1							km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0	0%	
	第三種 建設発生土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1							km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0	0%	
	第四種 建設発生土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1							km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0	0%	
	浚渫土以外の泥土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1							km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0	0%	
	浚渫土 (建設汚泥を除く)	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1							km	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0	0%	
	合計	0.000	地山m <sup>3</sup>	0.000	0.000									0.000	地山m <sup>3</sup>	0.000	0	0%

<b>コード*10</b> 1.路盤材 2.裏込材 3.埋戻し材 4.その他	<b>コード*11</b> 1.焼却 2.脱水 3.天日乾燥 4.その他	<b>コード*12</b> 施工条件について 1.A指定処分 (発注時に指定されたもの) 2.B指定処分 (もしくは準指定処分) (発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの) 3.自由処分	<b>コード*13</b> (建設廃棄物の場合) 1.売却 2.他の工事現場 3.広域認定制度による処理 4.中間処理施設(アスファルト合材プラント) 5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設) 6.中間処理施設(サーマルリサイクル) 7.中間処理施設(単焼却)	(建設発生土の場合) 8.廃棄物最終処分場(海面処分場) 9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)	6.工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がない場合) 7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業 8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入) 9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入) 10.土捨場・残土処分場
--	--	---	---	---	---

注記) ・一般廃棄物は記入しないで下さい。  
 ・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6,9,10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。